

要 約

試験委託者

環境省

表 題トリクロロエタンニトリルのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験試験番号

A060055

試験方法

本試験は「新規化学物質等に係る試験の方法について<藻類生長阻害試験, ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験>」(平成15年11月21日 薬食発第 1121002号, 平成15・11・13製局第2号, 環境企発第031121002号, 最終改正: 平成17年4月1日) に準拠して実施した。

- 1) 暴露方式 : 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 2) 暴露期間 : 96時間
- 3) 試験濃度 : 対照区, 0.100, 0.180, 0.320, 0.560, 1.00 mg/L
(設定値) 公比: 1.8
- 4) 試験液量 : 5.0 L/容器
- 5) 連 数 : 1 容器/試験区
- 6) 供試生物数 : 10尾/試験区
- 7) 試験温度 : 24±1 °C
- 8) 照 明 : 室内光, 16時間明 (1000 lux以下) / 8時間暗
- 9) 分 析 法 : ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)

試験結果：

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、試験液調製時において69～75%、24時間後において7～21%であった。濃度減少の主な原因は、脱塩素水道水中の夾雑物や共存塩の影響（例えば、夾雑物や塩と被験物質との化学反応による構造変化や分解等）であると考察した。

2) 96時間暴露後の半数致死濃度 (LC50) : 0.0718 mg/L (95%信頼区間 : 0.0580～0.0877 mg/L)

3) 96時間暴露後の0%死亡最高濃度 : 0.0362 mg/L

4) 96時間暴露後の100%死亡最低濃度 : 0.182 mg/L